

2023年7月8日

日本技術史教育学会 2023 年度総会審議資料一覧

理事会 (2021-2022 年度任期)

1. 2023 年度総会について
2. 2022 年度事業報告書, 収支決算・監査報告書【2-1】
3. 2023 年度事業計画書(案), 2023 年度予算書(案)【3-1】
4. 2023 年度関西支部総会・研究発表講演会開催予告
5. 2023 年度以降に向けた取組み(案)
6. 次期役員候補者 (案)【6-1】
功績賞・業績賞, 優秀講演論文賞

審議資料

1. 2023 年度総会について

2023 年 5 月になり, 新型コロナウイルス感染症拡大防止措置としての緊急事態宣言が, WHOにより解除されたこととともに, 政府も伝染性疾患としての分類を 3 類から 5 類へと緩和する措置を講じました。しかし現時点でもまだコロナ禍は確実に続いています。

日本技術史教育学会(本学会)でも, 2022 年度総会・研究発表講演会, 全国大会と関西支部総会・研究発表講演会の開催をオンライン方式や対面との併用によるハイブリッド方式に変更し実施しました。

2022 年度総会では会員各位に資料をお届けし, 内容審議をお願いしました。審議結果については NL 第 128 号で報告したように, 提案した議題全てに対し承認を頂きました。改めてお礼を申し上げます。

2023 年度総会についても昨年度同様審議資料を, 学会HPを介してお届けすることに致します。至らない点多々ございますが, 以下の事項についてご審議ください。

- ①これらの資料をご覧頂き, 内容に関する審議をお願いします。
 - ②資料の内容についてご賛同頂ける場合には, 特段の返信は必要ございません。
 - ③内容についてご質問, ご意見, ご提案等がある場合は【別紙 1】「質問用紙」(ワード版)により, 該当箇所についての質問事項を箇条書きで記載し, 下記宛に電子メール(PDF ファイル添付) / 郵送のいずれかにより送付願います。なお質問用紙送付期限は, 「2023 年 6 月 24 日(土)・17:00 (郵送では当日消印有効)」とさせていただきます。
 - ④会員の皆様による総会審議資料の賛否結果については 7 月 8 日(土)の総会時と, 本学会 HP 及び NL 第 135 号(電子版化第 10 号)に掲載します。
 - ⑤2023 年度全国大会は 12 月に西日本工業大学(小倉キャンパス)での開催準備を進めていますが, 今後の社会環境の動向を見てハイブリッド方式での実施か, やむなく中止することもあり, 本学会 HP 及び NL 第 135 号(同)で改めてお知らせします。
- 以上, 皆様のご理解とご協力を重ねてお願い致します。時節柄, ご自身の健康には十分ご留意ください。

*問合せ先・送付先: 総務担当理事・堤 一郎宛, E-mail: ich_tsutsumi@tmail.plala.or.jp

〒191-0032 東京都日野市三沢 2-49-8, 学会 URL : <http://jseht.world.coccan.jp/index.htm>

2. 2022 年度事業報告書, 収支決算・監査報告書【2-1】

①総会・研究発表講演会, 全国大会及び関西支部総会・研究発表講演会開催

1)総会・研究発表講演会: 2022 年 7 月 23 日(土), サレジオ高専(東京)にて, オンライン方式で開催した(坂元愛史実行委員長)。(NL 第 131 号)

2)全国大会: 2022 年 12 月 10 日(土), 神奈川工科大学(厚木)にて, ハイブリッド(対面・オンライン併

- 用)方式で開催した(岡崎昭仁実行委員長)。(NL第133号)
- 3) 関西支部総会・研究発表講演会:2023年3月25日(土),南正晴関西支部長を窓口として,ハイブリッド(対面・オンライン併用)方式で開催した。(NL第134号)
- ②他学協会との関連事業
日本工学教育協会,日本メカニズムアーツ研究会等,他学協会との関連事業を開催した。
- ③学術刊行物の発行
1)学会誌「技術史教育学会誌」第23巻第2号(2022年4月)を発行した。
2)ニュースレター「技術史教育」第130~133号(2022年6月,8月,11月,2023年1月)を発行した。
- ④その他
1)2022年度役員は前年度同様以下の通りだが,佐藤和敏氏が一身上の都合で2022年12月に退任された。
会長:吉田喜一
理事:堤一郎(筆頭・総務),山舘順(総務),穂積洋一・丹野哲也(広報),武長玄次郎・岡崎昭仁(企画),桑原啓一・中條祐一・岡崎昭仁(編集),長谷川雅康・吉田喜一(研究),中村純一(事務局),佐藤和敏(北海道),小野寺英輝(東北),佐野浩(北陸・東海),南正晴(関西),吉田勉(中国・四国),高峰(九州・沖縄)
会計監査:田中明美・武藤康彦
顧問:林邦夫,大川時夫,下間頼一,白井靖幸,林和宏,牛山泉
2)学会規約による日本技術史教育学会「功績賞・業績賞」,「優秀講演論文賞」候補者を審査した。功績賞は平原国男氏(平原生産技術事務所),講演論文賞は飯野光政,丸山晴男,白井一,渡部紘一の諸氏が受賞された。
3)日本学術会議,科学技術振興機構等からの事務的要請に対し,業務協力を行った。
4)他学協会からの要請に対し,高度な学術支援を行った。
5)学会HPを定期更新した。
6)学会NL電子版化移行措置:学会HPからの電子版DL(無料),紙媒体送付(有料)の何れかについて,再度手続きを依頼した。(NL第133号)
7)学会創立30周年記念寄附について,経過報告を行った。(NL第131号)

⑤2022年度収支決算・監査報告書

別添資料【2-1】を参照願います。

【収入】

- ・会費収入:2022年度予算人数は正会員94人,学生会員2人だが,実質納入数は正会員83人,学生会員4人。他に未納会費,前年度会費との差額を後納頂いた。会員宛発送の年度会費納入依頼文書に事務局での不備があり,お詫び状とともに再発送した。このことを改めて各位にお詫び申し上げます。
- ・論文掲載料:2022年度は学会誌発行により,投稿者のご協力を頂いた。
- ・雑収入:学会創立30周年記念寄附は24名の方々から賛同を頂き,160,000円になり,総額は前年度と合わせて398,000円(2023年3月31日)となった。2021年度総会で承認頂いた通り,寄附金は2022年度総会終了後,特別会計に繰り入れる。

【支出】

- ・会報出版事業費:NL4回の印刷製本費(希望者と国会図書館等への送付分,予備)と発送費。
- ・論文出版事業費:学会誌(1回発行)と総会・研究発表講演会,全国大会の講演論文集印刷・送経費。
- ・その他の事業費:表彰費,HP費。支部助成費は会場費,オンライン開催の接続経費。
- ・管理費:切手代,電話料,事務委託費等,雑支出は会費納入時の郵便振替手数料等。

3. 2023年度事業計画書(案),2023年度予算書(案)【3-1】

①2023年度事業計画書(案)

1. 総会・研究発表講演会,全国大会,関西支部総会・研究発表講演会開催

- 1)総会・研究発表講演会:2023年7月8日(土),東京都立産業技術高専にてハイブリッド(対面・オンライン併用)方式で開催(柴崎年彦実行委員長)。
2)全国大会:2023年12月に,西日本工業大学(小倉キャンパス)で開催予定(準備中)。

3)関西支部総会・研究発表講演会；2024年3月23日(土)に、ハイブリッド(対面・オンライン併用)方式で開催予定。担当は南 正晴関西支部長。開催案内は学会 HP 及び NL にて行う。

②他学協会との関連事業

2023年度も日本科学史学会、日本工学教育協会、日本メカニズムアーツ研究会等、他学協会との関連事業を開催する。

③学術刊行物の発行

1)学会誌「技術史教育学会誌」第24巻第1・2合併号及び第25巻第1, 2号を発行予定。ただしコロナ禍がまた続くことによる社会環境変化と、学会行事の開催動向を考慮し予定変更の可能性もある。

2)ニューズレター「技術史教育」第134~137号(2023年4月,7月,10月,2024年1月)を発行予定。これらは電子版での発行を原則とし、未登録者には追加申請・登録手続きを依頼する。紙媒体送付希望者には別途の費用負担を、2021年度総会で了承頂いた。

④その他

1)学会規約による日本技術史教育学会「功績賞・業績賞」、「優秀講演論文賞」の候補者を募集、審査と表彰を行う。

2)日本学術会議、科学技術振興機構等からの事務的要請に対し、業務協力を行う。

3)他学協会からの要請に対し、高度な学術支援を行う。

4)学会 HP を定期更新する。

⑤2023年度収支予算書(案)

別添資料【3-1】を参照願います。

【収入】

・会費収入：現役引退、高齢化、業務上の異動等による会員数減少が予想されるが、すでに2023年度会費納入会員がいる反面未納会員もおり、完納を促進する。研究発表登壇時には当該年度までの会費完納を義務付けている。

論文掲載料は学会誌発行に依存するが、オンライン開催での発表件数減少の影響があるものの投稿件数が戻りつつある。学会誌への投稿促進をさらに進める。

・雑収入：学会創立30周年記念事業に向けた特別寄附は2023年度も継続するので、会員各位のご協力を重ねてお願いしたい。

【支出】

・会報出版事業費：NL電子版化移行に伴い、前年度同様予算削減した。電子版化への移行申請を促す。

・論文出版事業費：社会的状況と学会行事の開催動向を考慮しつつ、学会誌2回発行を予定する。

・その他の事業費：2022年度実績を考慮した。

・管理費：学会HPを活用し、会員宛の総会資料等の送付はHPからのDLをお願いしたい。

4. 2023年度関西支部総会・研究発表講演会開催予告

NL第134号に開催予告が掲載されており、そちらをご覧ください。

5. 2023年度以降に向けた取組み(案)

新型コロナウイルス変異株による感染症蔓延防止措置の緩和もあり、学術研究活動の活性化が期待できる反面、ウクライナへのロシア侵攻が続く中で原油や食料、諸物品の価格高騰が続き、本学会でもその影響を少なからず受けている。

こうした中でも学術団体の一員として研究活動を継続し、社会的還元を果たさなければならず、さらに後継者育成も考慮し、以下に記す諸事項について改めて会員各位のご理解とご協力をお願いする次第です。

1)年度会費は現行の7,200円を継続

年度会費を月額7,200円に値上げした財政面での効果は、昨年度総会資料に記載した通りで、学会財政が安定した。今年度も会費滞納者への対策を進め、本学会の二本柱である技術史研究と技術史教育に関心ある者の入会勧誘促進を、会員各位に重ねてお願いしたい。

2)学会創立30周年記念寄附の継続

今年度も寄附を継続するので、ご協力をお願いしたい。

3) ニュースレター「技術史教育」電子版への移行措置

2023年度発行号から電子版へ移行したが未登録会員がいるため、再度の呼びかけを行う。

4) 学会誌への投稿促進

現在の投稿規程内容を昨年度総会で承認頂いたので、会員各位の積極的な投稿をお待ちしている。

5) 学会内の研究会新設を進める

会員相互の研究促進を図るため研究会設置を進める予定。設置規程案は理事会にて作成する。

6) 技術史系諸学協会との行事共同開催への実施

本学会と関係ある技術史系及び技術教育系諸学協会との行事共同開催を進め、学術団体相互の理解と学術面での交流を行う。

6. 次期役員候補者（案）【6-1】

別添資料【6-1】を参照願います。

【功績賞・業績賞】

功績賞：該当者なし

業績賞：該当者なし

【優秀講演論文賞】

総会・研究発表講演会：以下の2名

- ・鳥谷智文氏、「第4回内国勸業博覧会関係史料からみた乃木村の蚕種郵送器製造」
- ・永尾 徹氏、「風力発電用風車のデザインに関する考察」

全国大会：以下の2名

- ・高 峰氏、「木質ペレットを利用する農業用ハウス加温器の開発」
- ・米澤一孝氏、「クラシックのルディ・ヴァン・ゲルダー-録音技術と音響芸術との関係について」

以上

別添資料【6-1】

次期役員候補者（案）

本学会の次期役員（2023-2024 年度任期）候補者を、以下のように提案します。学会創立 30 周年の準備もあり、基本的には役員の交替をしないことと致しましたので、宜しくご検討ください。

理事：以下の 17 名。

吉田喜一（会長）、堤 一郎、山舘 順、穂積洋一、丹野哲也、武長玄次郎、岡崎昭仁、桑原啓一、中條祐一、長谷川雅康、小野寺英輝（北海道・東北）、佐野 浩（北陸・東海）、南 正晴（関西）、吉田 勉（中国・四国）、高 峰（九州・沖縄）

新規：坂元愛史、米澤孝一（ともにサレジオ高専）

顧問：以下の 6 名。

林 邦夫、大川時夫、下間頼一、白井靖幸、林 和宏、牛山 泉

会計監査：以下の 2 名。

田中明美・武藤康彦

*学会事務局担当の中村純一氏は健康上の理由から次期役員を辞退されましたが、学会の事務については引き続き㈱プラス・ワンに委託致します。

以上

2022年度決算報告

収支決算書

(単位:円)

収入の部	科目	2022年度予算額	2022年度決算額	差異	摘要(会計簿項目等)
	前期繰越金	733,442	733,442	0	
	会費収入	684,000	634,800	△49,200	2021年度予算:7,200円(正)×94人, 3,600円(学生)×2人, 2022年度実績:7,200円(正)×83人, 3,600円(学生)×4人, 他に未納, 会費差額納入等を含む
	論文掲載料	150,000	130,000	△20,000	
	雑収入	150,000	284,504	134,504	別刷料・広告料・賛助会費・雑誌等売上金・雑収入・大会余剰金・利息・寄附(30周年:160,000円)
	収入合計	1,717,442	1,782,746	65,304	

(単位:円)

支出の部	項目	2022年度予算額	2022年度決算額	差異	摘要(会計簿項目等)
	会報出版事業費				
	印刷製本費	40,000	19,500	20,500	ニューズレター(No.130,131,132,133号)
	送料	20,000	5,055	14,945	ニューズレター送料(4回)
	論文出版事業費				
	印刷製本費	400,000	376,475	23,525	学会誌(1回), 別刷代, 講演論文集等印刷費
	編集費	5,000	0	5,000	
	送料	40,000	34,880	5,120	学会誌送料(1回)、講演論文集送料等(2回)
	その他の事業費				
	表彰費	10,000	2,090	7,910	表彰状(功績賞・業績賞・講演論文賞)等作成費
	ホームページ費	30,000	30,000	0	維持管理費
	支部助成費	5,000	10,000	△5,000	関西支部(会場、インターネット接続代金)
	行事支援費	10,000	10,000	0	行事開催支援費
	管理費				
	会議費	5,000	0	5,000	会場予約・使用費
	旅費交通費	10,000	0	10,000	総会補助実行委員交通費
	通信費	40,000	36,374	3,626	発送費・切手代・電話料
	消耗品等費	20,000	0	20,000	事務用品購入費
	印刷費	10,000	0	10,000	行事業内文書・封筒印刷費
	雑支出	40,000	33,535	6,465	振替手数料・賛助会費・封筒印刷代
	事務委託費	240,000	240,000	0	20,000円×12ヶ月
	予備費	792,442	0	792,442	
	当期支出合計	1,717,442	797,909	919,533	

△は予算に対する決算の超過分

(単位:円)

項目	収入	支出	繰越金
3月	1,049,302		
前期繰越金	733,442	0	
		797,909	
印税	0	0	
利息	2	0	
合計	1,782,746	797,909	984,837

会計監査 2022収支決算書

2022年度の収支決算について監査したところ、決算に誤りはなく、事務が適切に処理されているものと認めます。

2023年 5月 22日

会計監査

会計監査

田中明美 印
武藤康彦 印

【3-1】

2023年度収支予算書

収支予算書(案)

収入の部				(単位:円)
科目	2023年度予算額	2022年度予算額	差異	摘要(会計簿項目等)
前期繰越金	984,837	733,442	251,395	
会費収入	612,000	684,000	72,000	7,200円(正)×83人, 3,600円(学生)×4人
論文掲載料	120,000	150,000	30,000	
雑収入	180,000	150,000	30,000	別刷料・広告料・賛助会費・雑誌等売上金・寄附・雑収入 ・大会余剰金・NL手数料・利息等
収入合計	1,896,837	1,717,442	179,395	

支出の部				(単位:円)
項目	2023年度予算額	2022年度予算額	差異	摘要(会計簿項目等)
会報出版事業費				
印刷製本費	20,000	40,000	20,000	ニューズレター印刷費(No.134,135,136,137号);希望者等
送料	10,000	20,000	10,000	ニューズレター送料(4回);希望者等
論文出版事業費				
印刷製本費	700,000	400,000	300,000	学会誌(2回)、講演論文集(2回)、別刷代
編集費	5,000	5,000	0	編集費
送料	60,000	40,000	20,000	学会誌等送料
その他の事業費				
表彰費	10,000	10,000	0	表彰状(功績賞・業績賞・講演論文賞等)作成費
ホームページ費	30,000	30,000	0	維持管理費
支部助成費	10,000	5,000	5,000	関西支部
行事支援費	10,000	10,000	0	行事開催支援費
管理費				
会議費	5,000	5,000	0	
旅費交通費	20,000	10,000	0	特別講演講師交通費等(2回分)
通信費	40,000	40,000	0	発送費・切手代・電話料
消耗品等費	20,000	20,000	0	事務用品購入費
印刷費	10,000	10,000	0	行事案内文書・封筒印刷費
雑支出	40,000	40,000	0	振替手数料・賛助会費等
事務委託費	240,000	240,000	0	20,000円×12ヶ月
予備費	666,837	792,442	125,605	
当期支出合計	1,896,837	1,717,442	179,395	

特別会計(円)			
前期繰越金		50	
利息		0	
収入		238,000	30周年記念 寄附金
支出		0	
合計		238,000	